

あいとびあ

相原まちづくり協議会情報誌

2000年

4月15日

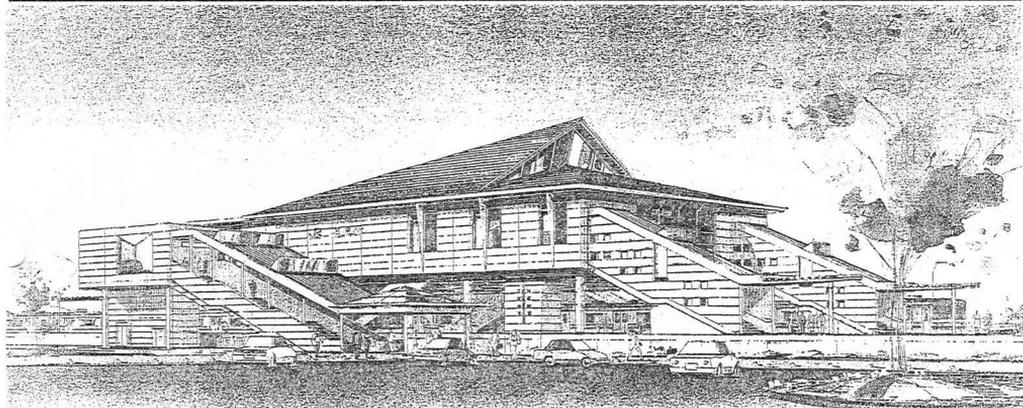
第6号

発行 相原まちづくり協議会
広報委員会

責任者 木下 眞

所在地 町田市相原町1241番地

電話 042(774)8705



西口からみた新相原駅外観

外観パース

新駅舎概要の説明会 がありました

町田市の建設部は、相原まちづくり協議会、相原連合町内会を対象に「相原駅自由通路及び橋上駅舎化整備事業」の説明会を2月25日に丸山公会堂で開きました。

町田市からは、川俣建設部長、斉藤同次長、神蔵土木課長、市会議員では八木邦治、井上正行、伊藤泰人の3氏に出席してもらい、席上、川又建設部長さんから、同事業の説明とともに次のようなご挨拶がありました。

「駅舎については、みなさんのご要望のあった相原らしい“心がなごむ駅”“現代的和風の駅”をできるだけ取り入れました。

自由通路・駅舎は市がJRに寄付することになっていますので、自治省から寄付は賛沢なものはダメといわれています。JRからは維持管理しやすいものとの要請があります。自治省、JRと話し合ってきましたが、今日みなさんに提示した内容でほぼ合意されました。予算は当初の事業費よりも、2、3割増えています」

地元の要望を取り入れた新駅舎の外観 工事は今年12月から開始へ

新しい相原駅舎の全貌が明らかになりました。国、市、JRの関係機関との話し合いにより、駅舎の外観図は上絵のようになります。

これは西口から見た完成図です。入り母屋造りの大胆な大屋根です。相原まちづくり協議会がアンケート調査をもとに「心がなごむ駅」「現代的和風造り」などを市に要望していましたが、それを採用してくれたものです。

屋根の一番高いところが19M35Cmで、ビルの6～7階の高さです（屋根の高さはJRの基準では20Mが限度ですから、ぎりぎりのものです）。屋根のつま部分から明かりを取り入れていますので、駅舎内が非常に明るくなります。

自然に調和した相原らしい、ユニークな駅舎になることが期待されます。

駅舎工事の予定は実施設計が6か月かかりますので、計画通り進めば、今年の12月から工事が始まります。工事期間は30か月かかりますので、完成は平成14年度末（平成15年3月末）です。

（駅舎の詳細については、2、3面で掲載しています）

橋上に6本の自由通路 エスカレーター、エレベーターも設置

待望の相原駅の新駅舎は、いよいよ着工に向け具体化してきました。市の説明によりますと駅舎全体は現状よりも、30M弱橋本寄りになります。駅舎の幅は18M、長さ32M、床面積は576㎡です。プラットホームは現行のものを使用します。

新駅舎の基本設計は2面の図のようになります。

【自由通路】

橋上駅になりますから、改札口は2階です。

1階から2階に昇る階段の幅は、東口が4M、西口が6Mです。階段の幅が東西で違うのは、将来の乗降客の予測などからです。このほか、エスカレーター、エレベーターが東口と西口にそれぞれ設置されます。これはお年寄りや体の不自由な人のために、配慮したものです。エレベーターは11名乗り用です。エスカレーターは「上り」だけです。

橋上には東西を結ぶ6Mの自由通路ができます。図のよう八王子側は直線ではなく、「く」の字型になります。「く」の字の一番深いところで、道路から1.8Mです。

【橋上駅舎】

自動改札機は7台になります。自動券売機は5台、自動精算機は2台つきます。駅務室、休憩室、キヨスクなども2階になります。トイレも2階で、橋本駅のように改札口の内側になります。

改札口を入り、2階と1階のプラットホームとの行き来は、1番線と2番線にそれぞれ階段、エレベーター、エスカレーターが設置されます。計画ではエスカレーターは「上り」だけですが、まちづくり協議会、連合町内会では、「下り」の設置も強く要望しています。

基本設計図によりますと、プラットホームに降りる階段は現状より、かなり橋本駅よりになります。

2月25日の説明会での川又・町田市建設部長さんらとの、主な要望、回答は以下の通りです。

<要望> 自由通路のくの中の部分を延長して、ギャラリー、キヨスク、コーヒэшョップなどのスペースを確保して欲しい。
<回答> 自由通路は、あくまでも道路です。道路管理者のいないところでは、そのような施設は作るできない。

<要望> 階段の登りきったところの屋根も、とんがり屋根にして欲しい。

<回答> 工事費が、さらに増加するので、かんべんして欲しい。

<要望> 階段は将来のことを考えて、両側に下りられるようにして欲しい。

<回答> (駅周辺の)都市計画上、両側に階段は必要ないと考えている。

<要望> 足の不自由の人のために、「下り」のエスカレーターも設置して欲しい。

<回答> エレベーターが設置されるので、それを利用して欲しい。

<要望> 自由通路に椅子を設置して欲しい。

<回答> 椅子については検討する。

<要望> 外壁の仕上げ材は自然材で仕上げたい。全体の色彩計画も前もって説明して欲しい。

<回答> 完成後の維持管理や費用などから、外壁はセメント盤を吹き付けたものにした。色などについても、市に一任してほしい。役員には事前に連絡する。

<要望> 自由通路側にもトイレができませんか。

<回答> 自由通路はあくまでも道路の位置づけのため、設置できない。

<要望> 自由通路の階段で東口のA階段の幅が4Mに対して、西口のB階段が6Mと違うのはなぜか。

<回答> 相原駅の乗降客の予測は平成25年、28,000人とみている。このうち西口が20,000人、東口が8,000人で、圧倒的に西口の利用者が多くなるからだ。

<要望> 西口の駅前広場と取付道路の確保は駅舎の建設と合わせて実現できないか。

<回答> 駅前広場と駅舎は切り離して進めたい。

相原Jao会の「源流炭」が できあがりました



昨年、相原まちづくり協議会のよびかけで結成した相原Jao（ジャオ）会は、活動の一つとして竹炭焼きに取り組んでいますが、このほど竹炭ができあがりました。

竹炭の蒸作りは、町田市シルバー人材センターの若杉幸生さんの指導のもと、2月18日に大地沢で行いました。会員20名が出席しました。

窯は90cmのドラム缶を使い、その上に粘土をかぶせます。竹は28cmに切り、3列に並べ積み重ね、19日に火入れを行いました。

21日に取り出したところ、失敗でした。この原因は、粘土の水分が熱を奪ってしまったからです。21日に再度、火入れを行い、みごとに成功することができました。竹は約20本使い、竹炭の製品は23・5kgでした。

名前は、境川の源流で製造したため、「源流炭」と付けました。できた炭はJao会の会員にそれぞれ配布しました。

Jao会はほぼ技術を修得しましたので、今後は、子供会などに呼びかけて、体験炭焼きなどを計画しています。当面は5月の連休前後に予定しています。

傘 募集中！

再開！ 駅に貸し傘を設置

相原駅はこの秋に着工し、平成15年の春

に完成する予定です。駅のことで議論するなかで、以前、相原駅には急に雨が降ってきてお困りの方に貸し傘が用意されました。皆さんも一度や二度はお世話になりました。皆さんも一度や二度はお世話になりました。皆さんもおありでしょう。陽田町会の高橋さんという方のご厚意によるものでした。大変有り難かったと思います。この方はすでに他界されたと聞いています。

相原まちづくり協議会では、この方の意を酌み、無料貸し傘を再開しようと考えています。

中には心ない方がいるかもしれませんが、それを上回る善意で「住んでいて良かった」を実感できる相原にしようではありませんか。

そこで、皆さんにお願いですが、ご家庭で余っている傘がございましたら“いなげや”駐車場横の「相原まちづくり相談所」までご持参下さい。

目標は100本！

一次募集の締め切りは5月31日までとさせていただきます。多くの方々の御協力に期待しています。

なお、相原まちづくり相談所の相談日が火、木から月、木に変わりました。ここには、町田市の相談員で田中さんという方が、毎週月曜と木曜（9時から5時）に詰めていらっしゃいます。大変気さくな方です。行政に対するご要望など、お気軽にご相談されることをお勧めします。

お知らせ

相原のホームページが暫くの間休ませて頂きます。再開は5月後半を予定しています。

編集後記

“あいとびあ”第6号ではニュース性の高い橋上駅舎のことを主に取り上げました。駅舎は町の顔です。一日も早い完成が望まれます。駅舎の他に区画整理や相原中央公園、子どもセンター、相原Jao会等、相原まちづくり協議会では取り組むことが多くなってきました。紙面の関係で掲載出来ない記事も沢山ありますが、住んでいて良かったを実感できるまちづくりを指し、いろいろな事を記事にし、“あいとびあ”が皆様に親しまれるよう広報のスタッフは頑張っています。応援をよろしく・・・須島 今 横